

議事録 20190919 第 10 回まちづくり町民会議

1) 会長あいさつ

会長：台風接近で足元の悪い中、お集りいただきありがとうございます。先月の会議で皆さまから要望等がありましたので、その点について少し説明させていただきたいと思います。

進捗状況を心配する声が上がっておりましたので、町長とも少しお話しさせていただきました。その際に、進捗状況としては、共有しているスケジュールのとおり12月に「新庁舎基本設計入札の概要説明」となっているので、それまでに基本設計の準備を整えるという形でこれまでの会議を進めてきているわけですが、今までのところは順調に進んでいるというのが私たちの認識でしたので、町長とも確認をさせていただきました。

ただ、人数が揃わないため会議の要件を満たさないのではという心配もありましたので、話をさせていただきました。これまで1/2以上の出席ということでしたが、今回から、1/3以上の出席でこの会議が成立する要件を満たすということで町長からも了承いただきました。

10月はお休みのため、今回と11月で庁舎建設についての具体的な話し合いは終了したいと思いますので、よろしくお願い致します。

2) 基本計画必要事項

項目 12 / 機能 5 住民サービスについて

委員：まず住民交流スペースについて。子どもたちが来やすい場所になるのでいい発想だと思うのですが、図書館とのスペースの共有なのか、それとも別々なのか。図書館にもあると子どもたちにとっては親しみやすくなる。図書館も近くに移すという話だったので、管理をどう考えているのか教えていただきたい。

デジタルサイネージは職員が担当するのか、業者に委託するのか、日常的な仕事と考えた時に職員への負担等をどのように考えていらっしゃるのか教えていただきたい。

事務局：図書館を新庁舎近くに移設する話はまだしていないと思うのですが、キッズスペースに絵本を置いたりしようとは考えています。既存の図書館にもキッズスペースを設置できないか教育委員会と相談させていただきます。協議結果：図書館にくる子ども達には AV スペースでビデオを勧奨したり、またキッズエリアがあるので、その中で本を読んだりしています。逆にキッズスペースを設けた場合は、騒ぐことが想定されるので、経過を見ていきたい
とのことです。

デジタルサイネージについては、業者委託をする費用がもったいないという思いもあるので、職員で運用していくつもりです。職員の負担にならないように、既存のシステム（役場のポータルサイトの同時登録機能等）と連動できれば負担は軽減されるのではないかと。

～質問なし～

項目 22 / 周辺整備

【道路拡張】

委員：黄色（下平川校区）と水色（知名住吉校区）の道路から、新庁舎予定地に入る白のラインは、一般公道になるのか私有地になるのかを教えてください。現状は分からないが、一時停止線等が引かれたときに、一般公道であれば警察の取り締まりの範囲になるし、町の敷地内の道路であれば異なる。取り扱いはどうなるのか。

事務局：白い線は町有地なので事業者独自で引く線ということになると思う。当然、規制対象外。おそらく新庁舎建築中に、交通安全運転管理協会との協議が必要になると思うので細かく詰めていきたい。

委員：狭い道を通って各方面からアクセスしてもいいですよとなっているが、狭い道は事故が起こる可能性があるので、「遅刻してもいいから大きい道路を走ってきてください」というのがあるべき姿。広い道路を走るように誘導するべき。そうすることで、商店街の方にも車が流れるのでは。「花の家」の後ろを通るとか細かなことではなく、大胆な計画で整備すべき。

この会議は今日で5回目だが、まだ場所も決定していないようだし。

前回の質疑応答の回答をしながら会議を進めないと、参加者は聞きっぱなしで最終目的地がどこにあるのかなと思ってしまう。だから参加人数が少なくなっている。形だけの会は楽しくない。

先ほどの、ICTの配線タイプのことなど、(今のタイミングで聞かれても)誰もリアクションできない。もう少し実のある話し合いの場にして欲しい。今の状態では勉強しに来ているような印象を受ける。

(話を戻すと、)道路整備はもう少し考えた方がいい。あらかじめ「ここここが本線」と決めておかないと、大山から下りてきたら農作業中のトラックが止まっていて苦情が出たりすると思うので、大きい道路を通らせるようにして欲しい。

会長：道路については、花の家の辺りの道路を整備するとそっちを通ってもいいのではないかと誤解を招く部分もあるかと思うので、大きい道路優先で通っていただくよう提案したい。

形が分かりにくい(全容が見えない)という指摘について、基本設計を作る上でどうしても話し合いに盛り込まなければならない項目がある。その中で、本来であればパブリックコメントだけを取ってなかなか町民の意見を聞く場がないのが実情で、基本設計に入る前に各項目についてもしっかりと皆さんの声を聞きたいというのがこの会の目的。町長の施策

の中でも、ぜひ町民の声を聞きたいということでこの会議を開催している。ただ、庁舎の形が見えないということで皆さんが戸惑う部分は重々承知している。11月にまた庁舎についての話し合いも最終的に行いたいと思うので、それまでは項目の決定について皆さんの意見を伺って基本設計に生かしていきたいので、ご協力ください。

事務局：ご指摘は前回から重く受け止めているが、このまちづくり協議会の立ち位置というのが、最終的には町長に答申を行い、町長が判断を行うためのさまざまなことを想定している。いろいろな意見が出てきたときにしっかり対応ができるようにという意味でこの会議を進めているので、ご理解いただければと思う。

委員：この会議に三役の誰かに参加して進められないか。

協議結果：本会議の目的は、町民目線での会議としていますが、今後、3役のいずれかに出席をお願いします。

委員：委員の最初の（大きい道路を通るべきという）発言について、役場職員に対しての意見なのか、町民にも呼び掛けて欲しいという意見なのか。はっきりしてもらいたい。

事務局：役場職員だけでなく住民の方にもそうしていただきたい。公道を停める（補足：色

んな所からアクセスできる道がある) ことは中々出来ないので、大きい道路を使いましょう
と役場職員が呼び掛けていく。

委員：資料に「フローラル花の家からの横道：経過を見つつ検討する」とあるが、現在も、
あしびの郷でイベントがあるとたくさんの方が使っている道路である。書かれているとお
り「対向車の交差が困難」など、あまりいい道路ではないが、近道なのでよく使うのが現状。
「経過を見つつ検討」で本当にいいのかと疑問に思う。結果的にはストップしなければいけ
ないことになると思う。

委員：白い線が正門になる？（そうです）

正門を中心にして道路がどう走っているのかを考えれば、黄色点線、紫、赤線は少し危険な
状態と書かれている。その方たちは正門をとおらずに庁舎にアクセスするということ？

永野：近隣住民の方もいらっしゃるので、それを想定して→線を書いています。

委員：黄色点線（瀬利覚・下平川校区）は自転車などで近道もあり、そこをとおって事故が
あり、現在、学校ではとおらないようにしている。

無駄をなくさないと前に進まない。→線を付けたりすると、皆がとおっていいのだと勘違い

する。そうなってしまってからではおしまい。「大きい道路をとおって来てください」と、他の道はシャットアウトするくらいのことをしないと事故が起こる。

委員：私もそう思う。やはり正門を通って欲しい。いろいろな可能性を考えた場合に無駄が発生すると思う。庁舎に関しては正門から入るということで、バイパスの入り口を広く見通しがいいようにする工事にお金をかけるのはいい。住民の利便性を考えているのだろうが、やはり一本化して欲しい。

事務局：そのために案内板を設置して、正門から入っていただく措置を取っていきたい。想定できる範疇で書かさせてもらっています。

委員：小中学生の登下校もあるので、あしびの郷の前の時差式横断歩道にボタン式信号の設置して欲しい。

事務局：庁舎内の検討会で、安全が確保できるような方策を考えたい。

事務局：周辺整備についてはあくまでも役場の方から出ている案だが、過不足があることもあるので、もうしばらくこのような形で皆さまの意見を聞かせていただきたい。

【交流スペース】

～質問なし～

項目 23 / 交通関係

委員：地元のタクシー会社やバス会社を利用して、例えば 10 名乗りくらいのワゴン車を使って周遊路線をつくれぬのか？ そうすれば地元業者の売上につながるのでは。

事務局：前回の会議で、高齢者の方はあしびの郷の坂道を上るのが大変だという意見があったので、一つの対策として、周遊できるものを検討したい。タクシー会社の活用についても視野に入れている。

委員：（グリーンスローモビリティは）時速 20 キロくらいで入ることだが、追い越しするときに危険があるので、道幅を広くする必要性もあるのかもしれない。現状のままでバイパスを走らせると、一般車両の邪魔になって事故の原因になり兼ねない。
先ほどの民間委託する案でもいいのかもしい。

事務局：追い越し車両が発生すると危険になると思うので、十分検討したい。

委員：バイパスの道路には両方に歩道がついているので、片側を潰して道路を広げてはどうか？

委員：無料の循環バスなのか。100円バスなのか？利用料金（運賃）はどうか。

事務局：まだそこまで検討していない。ただ、停留所案としてバス企業団、現在の役場庁舎、商工会の駐車場、Aコープを検討しているので、もしご理解をいただけて無料で運行できれば、買い物をした後に役場に寄ることもでき、高齢者にもやさしいのではと思う。

委員：金額によっては使うかどうか、継続しえ運営できるかの問題がある。

アドバイザー：個人的にはどうして欲しい？

委員：個人的には、（年齢にかかわらず）完全無料の循環バスを希望する。町民会議の前半の会でもあったと思うが、庁舎が移転しても人の流れが途切れないようバスを運行できたらいいという意見があった。そういう点でも、運賃がかかるとなると利用者があまりいないかもしれない。皆が無料で利用できて、商店街への人の流れがなるべく途切れないといい。

項目 24／財源について

委員：あえて PFI を活用した場合を提案しているのは、他の市町村において庁舎建設の活用事例があったからなのか。

事務局：和泊町が活用している。PFI の中でも BTO 方式というタイプで、1 階か 2 階部分かは確認していませんが、ある階は従来方式を使い、残る 1 階部分は BTO 方式で、事業者に委託料を払いつつ維持管理もしていただくというやり方をしていたようだ。

委員：なぜ和泊町が PFI を活用したのか知っているのでしょうか。例えば、自己財源が確保できなかったから民間から調達したということだったのか。

事務局：そこまでは確認していないが、和泊町の場合は私たちよりも遥かに前の段階から検討されていた、その結果だと思います。

委員：(知名町中長期財政計画の歳入歳出見込みについて)令和 5 年までは歳出の方が多く、令和 6 年度から歳入が増えてくる。大まかに年度ごとに約 1 億ずつ増えるという見通しを立てているが、人口減少するなかで、この見通しを何から持ってきたのか、わかりやすく教

えて欲しい。

また、もし歳出が見通しより増えるのであれば、新庁舎建設にかけられる予算を減らす必要があるのではないかと思うのだが。

事務局：大型公共事業の償還終期を迎える事業がいくつかあるのが、歳出が減っている要因だと考えられる。ただし、単年で償還数、つまりお金を返す額が多くなった場合、貯金でも足りないということがあるかもしれないので、見込み的にはもう少し厳しくなるかもしれない。国の方針一つで交付税が変わることもあり得るので、あくまでも現時点の数値と想っていたらと思う。

項目 25 / 発注方法について

委員：従来方式で設計・施工分離発注の方がいいと思う。PFI の利息の件もあるが、町も分離発注の経験が豊かでノウハウも持っているので、PFI よりは地元企業を入れてもらえると有難いと個人的には思う。

事務局：事前に町内検討委員会をした中で、本町の建設事業者は学校や給食センターなど 10 億円規模に相当する建物をつくっているの、十分建設ができると推薦をもらっている。

委員：財政負担を考えると、やはりできるだけ地元の企業を活用していただきたい。地元業者が伸びていけば、将来的に地域に貢献できるはずなので、従来方式の方が有難い。

ただ不安があるとすれば、1年で作り切れるのかどうかという点。もう一つは（庁舎完成後の）維持管理面でのメンテナンスの計画も立てておいてもらいたい。その視点も含め、今後の見通しを教えてください。

事務局：

【庁舎完成後のメンテナンスについて】

床やトイレの掃除等は地元のクリーニング業者に委託可能。防災設備も兼ねているが、発電機等の管理の委託先も町内に1社ある。修理業者も町内で委託できていると思っている。通信ケーブル関連も地元で1～2社あり、依頼できれば、地元ですべて対応できている。

個人の見解ではあるが。

【1年という工期について】

建築面積 2500 m²程度に対して工期が十分かどうかだが、階層は2階を予定しているが、（フロア）面積が大きいことがネックではある。階層はおそらく立ち上がるが、中の仕上げ、電気の設備、給排水設備があるので、本当は1年程度見た方が無難である。

また、台風などで工期の遅れがでる可能性もある。1年程度は最低でも見た方がいいかと思っている。

委員：設計・施工分離発注を方針とされているのですが、私個人としては設計・施工一括発注の方がいいのではと思う。以前、橋梁メーカーで働いていたが、橋梁の業界でも最近は設計・施工一括が増えている。利点として、施工を見通して社内で設計担当者と施工担当者が一緒に話し合えて、設計から施工へとスムーズに引き継ぎできる。施工時に、鉄筋と付属物が当たってしまうなどの問題が多々出て来るが、一社であれば直接問い合わせができるのでその後の対処も早い。設計と施工が別の業者だと、どうしても「待ち」の状態が発生してしまい、最終的な工期遅れにつながってしまう。

留意点の「設計品質、施工品質」について、役場職員ではどうしても管理対応できない技術や知識のもとで施工する場合もある。ゼネコンなので。そこは考え方を变えて、管理はコンサルタントや設計会社に委託して行うのも一つだ。(きちんと) 見られる人を入れることによって、施工中に現場監督の目が行き届いていないところで不具合があると何十年先に不具合が起きて、結果的に補修が必要になることもある(が、それを防ぐことができる)。

また、「地元企業では委託困難」とあるが、徳洲会も最近出来た発電所もそうだが、ゼネコンが入ってその下で地元企業が従事するケースはあったので、困難ではないと思う。

事務局：ご発言にあった利点は十分参考にしていこうと思うが、今回の方針の中では、どち

らがより地域経済を活性化できるかということに重点を置き、分離発注という案を出した。

管理等については、また最新資料を入れて事業着手方式として検討したい。